

【資料1】

第2回高幡地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成27年2月13日

## 高幡地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

## 高幡地域アクションプランの進捗状況等

H27. 2. 13

高幡地域本部

### 1 地域アクションプランの平成26年度（第3四半期）の進捗状況等（総括）

#### (1) 総評

産業振興総合補助金を活用して整備し、昨年4月にオープンした2つの施設については、夏の天候不順等により一時的な売上の落ち込みが見られたが、9月以降は回復傾向にあり、運営に関してさらなるブラッシュアップや、広報や誘客等の工夫を図りながら目標達成に向けて健闘している。

また、25年度にシイラ加工食品のヒット商品を生み出した「けんかま」では、県外量販店への販路をさらに拡大しているほか、他のアクションプランにおいても、産業振興アドバイザーや各関係機関の支援策を活用しながら、商品開発や販路拡大に挑む姿勢が活発化している。

観光分野では、「2016奥四万十博」(平成28年4月10日～12月25日)の開催に向けて、昨年12月3日に「奥四万十博推進協議会」を立ち上げ、博覧会の基本計画や予算等が承認された。5市町をモチーフにしたポスターが完成し、県外へのセールス活動も積極的に行うなか、久礼大正町市場の食べ歩きクーポンが大手旅行会社の商品に内定するなど、博覧会本番を見据えて着々と準備が進められている。

須崎市では、7月に設置された須崎市産業振興計画検討委員会において、関係事業者とのヒアリングを踏まえた計画素案を作成し、市民からの意見募集を経て、今年度中の計画策定を目指している。

#### (2) 具体的な動き

##### ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>まとまりのある産地づくり</p> <p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA土佐くろしお</li> <li>・JA四万十</li> </ul>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>主要農産物販売額：H27 園芸年度 56.8 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>主要農産物販売額：H26 園芸年度 56 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>主要農産物販売額：H25 園芸年度 53.8 億円 →実績 55.9 億円</p> <p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地検討会、目慣らし会等 (43回開催)</li> <li>・栽培及び低コスト現地実証圃の調査・検討 (34カ所)</li> <li>・IPM技術実証圃の調査・検討 (11カ所)</li> <li>・排液及び循環型処理装置の実証・検討 (11カ所)</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(栲原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA津野山</p>	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>栽培技術の定着化 ⇒実証圃の調査・検討の継続実施、技術マニュアル等の作成</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>農協取扱主要品目売上：5.9億円 所得400万円以上の農家数：5戸</p> <p>[H26到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上：5.6億円 所得400万円以上の農家数：5戸</p> <p>[H25到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上：5.3億円→実績5.0億円 所得400万円以上の農家数：4戸→実績5戸</p> <p>[取組状況]</p> <p>・栽培指導(12月末) 栽培講習会13回、現地検討会8回、実証圃・モデル園設置5カ所、個別巡回指導等91回</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>平坦地なみの所得をあげるための進捗管理 ⇒個別巡回指導等の継続実施</p>
<p>■No.3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA四万十</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>ニラ販売金額：10億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>ニラ販売金額：9.3億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ニラ販売金額：9.3億円→実績8.1億円</p> <p>[取組状況](12月末)</p> <p>・現地検討会等の開催 ショウガ8回、ピーマン11回、ニラ28回、露地ショウガ9回、露地シシトフ3回</p> <p>・JAと連携した品目別経営分析説明会の開催 7品目 (ショウガ、ピーマン、ニラ、キュウリ、水耕切、ショウガ、アスパラ) 参加率52%</p> <p>・産業振興アドバイザーの導入(7/4)</p> <p>・米ブランド化アドバイザーによる現地検討会の開催(9/22)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 大野見米のブランド化 (中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中土佐町</li> <li>・JA 四万十</li> </ul>	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>収量・品質の向上</p> <p>⇒こうち新園芸システムと連携した取り組みにより、現行栽培技術の検証と新たな技術組立による更なる収量・品質向上</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>エコ米販売量：20t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>エコ米販売量：10t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>エコ米販売量：3t→実績 4.5t</p> <p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおのみエコロジーファーマーズ」総会 (1回) 及び執行委員会 (3回) の開催</li> <li>・教育現場との交流活動 (3回)</li> <li>・イベント、企業 (社員食堂等) 等への販促活動 (9回)</li> <li>・ネット販売の実施</li> <li>・ホームページの更新 (103回、アクセスのべ4,318回)</li> <li>・真空パック機の導入</li> <li>・色彩選別機等の導入申請 (こうち農業確立総合支援事業)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者グループの組織強化及びエコ米販売数量の確保 ⇒生産者及び作付面積の拡大、栽培技術の向上</li> <li>・ブランド化戦略の構築 ⇒安定的な販路の確保・拡大、地域資源 (どぶろく等) の商品化や地域での交流活動の推進 (飲食店開業の検討等)</li> </ul>
<p>■No.8 つの茶販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 津野山</li> <li>・津野町</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>茶販売額：69,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>茶販売額：62,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>茶販売額：57,800千円→実績 44,792千円</p> <p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産組合総会 (1回)</li> <li>・JA 津野山の茶生産組合と葉山茶生産組合の統合再編にかかる関係者協議 (9回)</li> <li>・ボトルティー開発協議 (工業技術センター) (1回)</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売促進イベント (36回)</li> <li>・かぶせ茶の試験栽培及び商品開発 かぶせ茶パウダー、かぶせ茶みるく豆、茶ピール等</li> <li>・茶工場改修計画の策定及び補助金協議 (9回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番茶の消費拡大と高付加価値化 ⇒加工品の商品開発による新たな需要の開拓</li> <li>・次世代担い手対策 ⇒生産面積維持のため地域作業受委託の仕組みづくり</li> </ul>
<p><b>森を活かす取組</b></p> <p>■No.17「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用 (中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町森林組合</li> <li>・須崎地区森林組合</li> <li>・四万十町内製材業者</li> </ul>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 9,000 m<sup>3</sup>、製品売上高 2.7 億円 F S C 等認証森林面積：5,700ha F S C 認証材製品売上高：20 百万円 J A S 認定工場：1 社増設</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 9,000 m<sup>3</sup>、製品売上高 2.7 億円 F S C 等認証森林面積：5,700ha F S C 認証材製品売上高：12 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 7,000 m<sup>3</sup>、製品売上高 2.5 億円 →実績 原木 8,486 m<sup>3</sup>、製品売上高 3.8 億円 F S C 等認証森林面積：5,644ha→実績 5,650ha F S C 認証材製品売上高：10 百万円→実績 10 百万円</p> <p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外商活動延べ 236回 (県内 138回、県外 98回)</li> <li>・四万十ヒノキブランド化協議会の開催 (8/19)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客のニーズに応じた商品の開発・改良 ⇒アンケート等を実施して、商品の問題点等を検討</li> <li>・ブランド化の推進による付加価値の向上 ⇒ロゴマークの作成</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A津野山</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：11t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：10t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：8.9t→実績 6.6 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県椎茸品評会への出展 (5月)</li> <li>・ 全農全国椎茸品評会への出展 (6月)</li> <li>・ 産業振興アドバイザーによる講演会及び助言指導の実施 (6/28)</li> <li>・ ほだ場調査講習会 (7月)</li> <li>・ 生産者部会による販売戦略の検討 (10月)</li> <li>・ 現地検討会 (10、12月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>1億円産業に向けた戦略の策定 ⇒ J A担当者や生産者部会と協議</p>
<p>■No. 21 循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梶原町森林組合</li> <li>・ 梶原町</li> <li>・ ゆすはらペレット㈱</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>木材生産量：5,000 m<sup>3</sup></p> <p>認証材の販売量：1,600 m<sup>3</sup></p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t</p> <p>ペレット生産量：1,700t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>木材生産量：3,000 m<sup>3</sup></p> <p>認証材の販売量：1,500 m<sup>3</sup></p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t</p> <p>ペレット生産量：1,700t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>木材生産量：2,800 m<sup>3</sup>→実績 2,013 m<sup>3</sup></p> <p>認証材の販売量：1,400 m<sup>3</sup>→実績 1,486 m<sup>3</sup></p> <p>ペレット原材料の調達：3,900t→実績 2,854 t</p> <p>ペレット生産量：1,700t→実績 1,411 t</p> <p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業活動延べ80回 (県内41回、県外39回)</li> <li>・ ペレット生産に関する協議 (10回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ F S C認証材の知名度の向上 ⇒営業活動の充実</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域の特産品を活用した商品づくり</p> <p>■No. 5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)アースエイド</p>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>売上額：20,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>売上額：5,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示商談会、販促相談会 (Mart×日本アクセス おいしいもの再発見プロジェクト等) への参加 (9 件)</li> <li>・ネット通販 (オイシックス等) の開始 (2 社)</li> <li>・商品開発 (2 品目)</li> <li>・新規取引開始 (18 件)</li> <li>・平成 26 年度地場産業大賞奨励賞受賞</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路開拓と商品開発</p> <p>⇒・メディア戦略等による消費者への認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常温でも保管できる商品を開発中</li> </ul>
<p>■No. 13 四万十の栗再生プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会</p>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>原材料供給量 (JA 集荷量)：100 t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>原材料供給量 (JA 集荷量)：60 t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>原材料供給量 (JA 集荷量)：80t→実績 22 t</p> <p>[取組状況] (12 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進協議会 (2 回)、栗振興大会 (1 回) の開催</li> <li>・特選栗の認定基準の見直しと認定制度の推進会議 (5 回)</li> <li>・先進地 (岐阜県) の栗栽培技術者の雇用 (1 名)</li> <li>・しまんと新一次産業 (株) への技術指導及び経営等協議 (10 回)</li> <li>・「四万十の栗」の認知度向上のためのマスコミ等への露出 地方版、全国版の TV、ラジオ (17 社 20 回)、新聞 (3 社 7 回)、タウン誌等 (9 回)</li> <li>・「おちゃくりカフェ」 (4/26～11/30) 売上高：23,510 千円 来店者数：8,483 名</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>生産者部会の組織強化と集荷体制の確立</p> <p>⇒・特選栗の認定基準見直しによる買取価格の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集荷事業の導入</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 シイラ加工の生産体制の強化 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十町</li> <li>・ 興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合</li> <li>・ 興津漁協</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>加工品販売金額：15,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>加工品販売金額：15,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>加工品販売金額：15,000 千円→実績 12,690 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常総会開催 (6/4)</li> <li>・ 水産加工業者との連携事業に係る意見交換 (2 社)</li> <li>・ 加工業者との商談 (1 回)</li> <li>・ イベントへの出店 (1 回)</li> <li>・ 従業員の常勤雇用 (2 名)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定的な原魚の確保及び経営管理、生産体制の強化</li> <li>・ 新規取引先の確保</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">⇒原魚の不足時における他所からの購入、 水産加工業者等と連携した販路拡大の取り組み</p>
<p>■NO. 31 シイラ加工食品の生産拡大 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備けんかま</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>フィレ取扱数量：34t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>フィレ取扱数量：25t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>フィレ取扱数量：25t→実績 17t</p> <p>[取組状況] (12 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こうち農商工連携事業によるアドバイザーの招聘 (9 回)</li> <li>・ フィレ取扱数量：8.6t (前年同期比 53%)</li> <li>・ シイラを使った竹輪の売上 1,954,865 本 31,146 千円 (前年同期比 73.1%)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競合他社製品との差別化を図る仕掛け ⇒量販店との商談など営業力の強化</li> <li>・ 新たなマーケットへの展開 ⇒おやつ感覚で食べるすりみ商品の開発</li> </ul>



重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO. 34 「中土佐のうまいもん食わしちゃお」 商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・ど久礼もん企業組合</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>開発する商品数：5 商品 売上高：28,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>開発する商品数：2 商品 売上高：28,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>開発する商品数：2 商品→実績 3 商品 売上高：28,000 千円→実績 34,801 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品試作(2 商品)</li> <li>・売上(12 月末)店舗：6,778 千円(前年比 123.9%) 全体：19,494 千円(前年比 81.2%)</li> <li>・商談会及び営業活動(14 回)</li> <li>・イベント等への出店(13 回)</li> <li>・取材、視察対応(9 回)</li> <li>・ホームページのリニューアル(8/1～)</li> <li>・産業振興アドバイザーの導入(5 回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>マーケティングによる経営強化と販路開拓 ⇒産業振興アドバイザーの導入と商品開発</p>
<p>6次産業化への取組等による拠点ビジネス</p> <p>■No. 36 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとセンター</li> <li>・津野町</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>高知店販売額：90 百万円 総販売額：162 百万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>高知店販売額：90 百万円 総販売額：160 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>高知店販売額：90 百万円→実績 87 百万円 総販売額：156 百万円→実績 154 百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知店販売額(十津店、瀬戸店、満天の星マルシェ) 売上高(11 月末)：61,506 千円(対前年比 111.1%)</li> <li>・総販売額(上記高知店 3 カ所及び町内 3 カ所) 売上高(11 月末)：105,858 千円(対前年比 103.0%)</li> <li>・直販所連絡会(2 回)、関係者経営会議等(4 回)での売上高の分析、改善強化などを実施</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 37 四万十町拠点ビジネス体制の強化 (四万十町) 《事業主体》 ・(株)あぐり窪川 ・四万十町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者直販システム改修検討会 (5回)</li> <li>・イベントの実施 (8回)</li> </ul> <p>※ (株) 満天の星 売上高 (11月末) : 131,286 千円 (対前年比 : 101.1%) 新商品の開発販売(7/9~) : 茶茶、茶ぼたん (11/7~) : 白星大福</p> <p>[課題と今後の対応] 高知店、直販全般の戦略見直し ⇒外部専門家への委託による販売戦略の再構築</p> <p>[目標 (H27) ] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 : 5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額 : 4.2 億円 アンテナショップ販売金額 : 4.5 千万円 常勤雇用者数 : 3名</p> <p>[H26 到達点] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 : 5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額 : 3.5 億円 アンテナショップ販売金額 : 4.4 千万円 常勤雇用者数 : 3名</p> <p>[H25 到達点] 地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 : 5品目以上→実績 5品目以上 道の駅あぐり窪川販売金額 : 3.5 億円→実績 3.2 億円 アンテナショップ販売金額 : 4.3 千万円→実績 4.1 千万円 常勤雇用者数 : 3名→3名</p> <p>[取組状況] ・道の駅あぐり窪川 (10月末) 売上高 : 178,137 千円 (前年同期比 86.4%) ・アンテナショップ しまんとマルシェ「四万十の蔵」 売上高 (12月末) : 31,895 千円 (前年同期比 106.0%) ・常勤雇用者数 : 3名 ・拠点ビジネス運営協議会総会 (9/17) ・販促イベントの実施 (6回) ・生産者向け「蔵ニュース」の発行(18回)</p> <p>[課題と今後の対応] ・情報発信機能の充実 ⇒産地とアンテナショップとの定期的な交流</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナショップ等の運営体制の検討 ⇒生産者グループや関係団体との協議調整</li> </ul>
<p><b>中心市街地の賑わいづくり</b></p> <p>■No. 32 大正町市場商店街活性化事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大正町市場組合</li> <li>・中土佐町商工会</li> <li>・中土佐町</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>大正町入込客の増加 (浜ちゃん食堂) : 28,000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>26,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>26,000 人→実績 24,118 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜ちゃん食堂入込み客数 (12 月末) : 17,308 人 (前年比 89.0%) ※6 月に 10 日間臨時休業有り</li> <li>・大正町市場組合に地域おこし協力隊を導入 (4~8 月)</li> <li>・百門市イベント開催による地元客による賑わいづくり (毎月第 4 金曜日)</li> <li>・空き店舗の活用 : 新たに 2 店舗出店</li> <li>・アドバイザーを招聘し商店街活性化に向けたワークショップ等の実施 (2 回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地元住民の参画による商店街活性化と情報発信の強化 ⇒関係機関と連携した仕組みづくりとフェイスブックの活用</p>
<p><b>滞在型、体験型観光の推進</b></p> <p>■No. 38 高幡地域における広域観光の推進(高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高幡広域市町村圏事務組合 (高幡広域観光推進本部)</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 372,000 人 宿泊者数 : 40,000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 367,370 人 宿泊者数 : 39,421 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要観光施設入込客数 (10 月末) : 212,307 人 (前年度比 : 71.3%)</li> <li>・宿泊者数 (10 月末) : 24,870 人 (前年度比 : 83.3%)</li> <li>・高幡広域観光推進本部会の開催 (5 回)</li> <li>・奥四万十博推進協議会の設置 (12/3)</li> <li>・博覧会本部会の開催 (1 回)</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 39 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・須崎市観光協会</li> <li>・NPOすさきスポーツクラブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の開催 (1回)</li> <li>・県外へのセールス活動(19回)</li> <li>・関東圏等の旅行会社を招いたモニターツアーの実施(9/4,5)</li> <li>・ブランド化アドバイザーによる旅行商品の磨きあげ(9/10,11)を行い、大手旅行会社パンフレットに久礼大正町市場食べ歩きクーポンが掲載予定。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>博覧会インフォメーションセンター及び各市町サテライト設置による情報発信機能の強化 ⇒各市町観光担当課との連携強化</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯 教育旅行受入数：10,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯 教育旅行受入数：5,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯→実績 61世帯 教育旅行受入数：5,000人→実績 5,176人</p> <p>[取組状況] (12月末実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊受入世帯の新規開拓訪問件数：40軒</li> <li>・民泊受入世帯数：12軒増加(合計72軒)</li> <li>・教育旅行等の受入件数：31件 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち民泊受入：1校115人</li> <li>うち体験受入：2,370人</li> </ul> </li> <li>・観光アドバイザーによる民泊研修会の開催(2回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>民泊受入世帯の増加 ⇒受入世帯100世帯に向けた営業活動の実施</p>
<p>■NO. 43 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町</li> <li>・(株)海洋堂</li> <li>・(株)奇想天外</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人→実績 65,395人 常勤雇用者数：3人→実績 3人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 37,741人 対前年比 66.1% のべ入館者数 252,978人 (H23.7.9～H26.12.31)</li> <li>・企画展開催 (4回) <ul style="list-style-type: none"> <li>「昭和の面白コレクション 高橋俊和 ぼくのタイムスリップ展」H26.3.21～H26.6.16</li> <li>「漫画コーナー」H26.3.21～H27.3.31</li> <li>「松村しのぶ ネイチャーワールド」H26.7.5～H26.9.1</li> <li>「友永詔三展」H26.9.13～H27.1.12</li> </ul> </li> <li>・イベントの開催 (13回)</li> <li>・広報活動(4回) <ul style="list-style-type: none"> <li>※海洋堂かつば館入場者数 20,679人 (5.20～7.19 臨時休館)</li> <li>のべ入場者数 103,981人 (H24.7.7～H26.12.31)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化</li> </ul>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町</li> <li>・営農支援センター四万十(株)</li> </ul>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>施設稼働率：90% 移住者数：15組</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>施設稼働率：90% 移住者数：15組</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>施設稼働率：90%→実績 97.4% 移住者数：8組→実績 17組</p> <p>[取組状況] (12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラインガルテン四万十の入居状況 滞在型 22棟 うち利用：全棟 日帰り型 16区画 うち利用：15区画</li> <li>・お試し滞在住宅運営状況 大正中津川：5組、広井：4組</li> <li>・移住相談窓口の増設(土日、祝日対応) 相談件数 本庁：268件 サテライト：57件 計 325件 空家調査 (31回)</li> <li>・日帰り移住ツアーの実施(9/24)</li> <li>・空家中間管理制度の導入及び町内募集：改修決定3軒</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO. 26 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協深浦支所</li> <li>・土佐鯛工房</li> <li>・乙女会</li> <li>・(株) 大東冷蔵</li> <li>・(有) 小島水産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住実績 15組 25人</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>入居者の移住に繋がる仕組みづくり ⇒地域住民との交流促進、サポート体制の整備</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐鯛工房：約 8 万尾</li> <li>・乙女会：約 5.5 万尾</li> </ul> <p>[H26 到達点]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐鯛工房：7.5 万尾</li> <li>・乙女会：5 万尾</li> </ul> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐鯛工房：7 万尾→実績 7.5 万尾</li> <li>・乙女会：4.5 万尾→実績 4.5 万尾</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループによる県内・外各地への販促活動 商談会への参加(3回：高知県内、東京、広島) 県外量販店で直売会開催(5回：山口、奈良、大阪)</li> <li>・養殖協業化に関する関係者協議(4回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ブランド魚(海援鯛、乙女鯛)の安定した販売先の確保 ⇒積極的な営業活動の実施</p>
<p>■NO. 29 中土佐町地域ブランドの創出と販売 促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中土佐町</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>商品販売高 25,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>商品販売高 14,962 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「びんび鯉のタタキ」予約販売(1月13現在) 216セット 1,723 千円 (前年比：113.3%)</li> <li>・「びんび鯉のタタキ」をイベントでPR(8回) 東京、大阪、岡山、高知龍馬空港、各県人会</li> <li>・「びんびめじか」販売実績 14店舗 443 千円(前年比：78.3%) 県外飲食店(東京)に新規納入</li> <li>・三越特招会、トドック通信販売で新規取扱(期間限定)</li> </ul>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	189セット 1,987千円 ・商談：2回(神戸、東京) [課題と今後の対応] 水産加工場の整備と事業体制の安定化 ⇒漁協等との連携強化

## 2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 26 浦ノ内湾産養殖マダいの販路拡大 (須崎市) ※ステップアップ事業(水産振興部対応)	・販促資材作成、販路開拓のための 営業活動の実施	952(442)
■No. 22 津野町森林・林業再生プロジェクト (津野町) ※ステップアップ事業	・AB材搬出の未利用材(CD材や林地 残材等)を有効利用した木質バイオ マスの製造及びボイラー施設の導入 の可能性調査	3,984(1,922)
■No. 25 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)	・水産加工施設、設備等の整備	18,371(8,487)

## 3 県民参画に向けた取組

○産業振興計画シンポジウムのPR、案内(5月)

- ・須崎市広報誌への掲載
- ・地域アクションプラン事業者、地域団体(JA、森林組合、商工会議所、観光協会等)、金融機関、民間事業所等への案内

○JA津野山での第2期計画Ver3の説明(4/28)

○土佐MBAへの参加の働きかけ

(株)アースエイド、桐島畑、(株)十とおかみさん市 など

## 4 相談案件：9件

NO	相談日	事業種別	相談内容
1	4/12	食品加工	地域原材料を活用した商品開発
2	4/28	水産業	陸上養殖について
3	5/8	食品加工	豚肉の加工事業について
4	5/17	食品加工	桜酒について
5	6/6	農業	直販所の整備について
6	6/14	食品加工	栗の葉の活用について
7	9/9	農業	大豆等の地域資源の活用について
8	9/11	農業	直販所及び調理室の改修について
9	12/24	食品加工	からすみの製造拡大について

